

# のほろべ

## 主な内容

- 市の財政事情② 市の台所はこのように（56年度予算の執行状況・55年度決算の見込額）……………2・3 P
- 日本工学院北海道専門学校・特集 若さと自由が集う学園都市づくりへ 57年4月開校を成功させよう……………4・5 P
- 来年度の市立幼稚園・園児を募集……………6 P

●No. 336 ●昭和56年11月1日発行 ●発行/北海道登別市 ●編集/総務部企画広報課 ●印刷/中西印刷



## さらに明るく、たくましく

### 幌別小 100周年、盛大に記念式典 登別小 90周年、盛大に記念式典

今年で開校100年と90年の年輪を刻み、地域の発展とともに歩んだ幌別小、登別小両校の開校記念式典が10月に相次いで開かれました。

10月18日、市内の小学校では最も古い歴史を誇る幌別小学校の100周年記念式典が、児童や同窓生・父母ら約1,400人が参加して行なわれ、同校の歩みを振り返るスライド上映をはじめ、同校百周年協賛会から体育振興基金（300万円）の積み立てなど記念事業の目録が手渡されたほか、校庭では「開校百年」と刻まれた記念碑の除幕式も行なわれ＝写真＝、二世紀目へ向け新たな門出を祝いました。

一方、登別小学校の開校90周年式典は10月25日に行なわれ、桜の木の植樹や児童の作文、記念写真などを入れたタイムカプセルを作成するなど、開校100年に向け一層の発展を誓い合いました。

11.1 1981

# 昭和56年度 一般会計予算執行状況

## 市の財政事情 ②

歳入		予算総額 百二十一億五千五百二十七万七千円	歳出	
1,282,386千円(43.6%)	市税 (2,942,190)		総務費 (770,101)	547,957千円(71.2%)
1,643,208千円(68.8%)	地方交付税 (2,389,800)	民生費 (2,728,631)	1,075,063千円(39.4%)	
797,300千円(34.8%)	国庫支出金 (2,294,107)	土木費 (1,590,694)	458,522千円(28.8%)	
208,856千円(33.6%)	道支出金 (620,712)	教育費 (1,568,285)	404,977千円(25.8%)	
17,580千円(2.2%)	繰入金 (805,081)	公債費 (1,179,230)	572,887千円(48.6%)	
274,006千円(19.0%)	諸収入 (1,442,549)	給与費 (2,647,631)	1,295,585千円(48.9%)	
491,920千円(59.1%)	市債 (828,200)	その他 (1,670,705)	864,084千円(51.7%)	
	その他 (832,638)			
収入済額 4,715,256千円(38.8%)			支出済額 5,219,075千円(42.9%)	

市がいろいろな事業を進めていくなかで、それにかかる費用がどのように収入され、どのように使われたかをお知らせし、市の財政を正しく理解していただくため毎年二回、財政事情の公表を行なっています。

これは、「登別市財政状況の公表に関する条例」に基づくもので今回は、昭和五十六年度の予算執行状況と昭和五十五年度の決算見込額を表とグラフを中心に紹介します。

今年度の一般会計は、百十九億三千六百万円でスタートしました。その後六回の補正で九月末現在

### 56年度予算の執行状況

#### 一般会計

財政運営では、登別市総合基本計画の第二次に当ることから、今年度を政策実行の年として、「まちづくり元年」と位置づけ、厳しい経済情勢のなかで健全財政を維持しながら懸案の大型事業である公共下水道、市民センター、川上総合公園等に着手したほか、登別中学校分校増設、公営住宅建設、登別都市下水路整備など教育施設整備や立ち遅れている都市基盤整備には積極的に予算を投下しています。

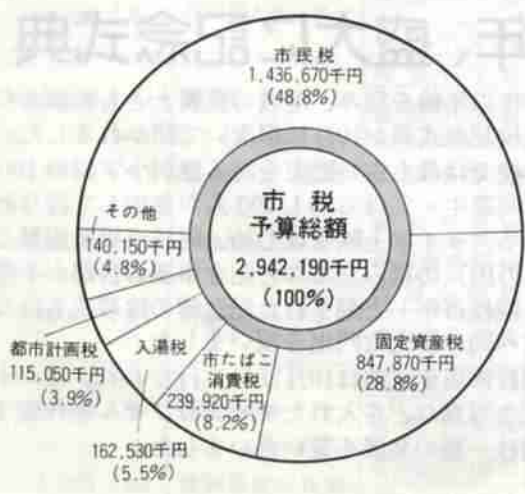
在では、百二十一億五千五百二十七万七千円となっています。これを、昨年同様に比較すると約十三億円、十二%の増となり、国、市の予算、又他市の予算と比べ伸び率が大きく積極的な予算となっています。

# 市の台所はいのよりに

市民1人当たりが負担するお金(市税)  
**50,877円**

市民1人当りに使われるお金  
**210,190円**

### 市税の内訳



### 自主財源と依存財源の状況



一時借入金の状況  
(昭和56年9月30日現在)  
借入先/室蘭信用金庫  
借入額/8億円

- ◎国民健康保険特別会計
  - ◎上野東部地区土地区画整理事業特別会計
  - ◎学校給食事業特別会計
  - ◎観光事業特別会計
- 九月末現在、四特別会計の予算総額二十六億九千五百四十一万五千円に対し収入は二十五・四％、支出は三十七・九％となつていま

### 特別会計

登別市には、次の四特別会計があります。

特別会計	
国民健康保険特別会計 (予算額18億5011万7千円)	② 6億1289万6千円(33.1%)
① 4億8606万8千円(26.3%)	
学校給食事業特別会計 (予算額4億546万円)	③ 1億5346万3千円(40.3%)
④ 1億1001万5千円(27.1%)	
土地区画整理事業特別会計 (予算額2億3908万8千円)	⑤ 2億397万3千円(60.2%)
⑥ 5,650万2千円(16.7%)	
観光事業特別会計 (予算額1億75千円)	⑦ 4,020万5千円(39.9%)
⑧ 3,119万2千円(31.0%)	
歳入	歳出
予算総額 26億9541万5千円 収入済総額 6億8377万7千円	予算総額 26億9541万5千円 支出済総額 10億2053万7千円
◎=収入済額 ①=支出済額 (%)=執行率	

す。昭和四十八年から行なっている上野東部地区土地区画整理事業は昭和五十五年年度で換地処分が終了しました。今年度は残った工事と保留地処分を行ない昭和五十六年度で特別会計を閉鎖します。

### 一般会計

科目	予算額	収入済額	対算率	科目	予算額	支出済額	対算率
市税	2,583,501	2,623,300	101.5%	民生費	2,608,985	2,567,717	98.4%
地方交付税	2,214,327	2,214,327	100.0	給与費	2,442,749	2,424,909	99.3
国庫支出金	2,110,670	2,096,633	99.3	土木費	1,463,424	1,453,507	99.3
諸収入	1,605,065	1,605,507	100.0	教育費	1,075,765	1,059,030	98.4
繰入金	615,950	615,950	100.0	公債費	1,055,588	1,027,120	97.3
市債	585,600	585,600	100.0	総務費	934,244	923,146	98.8
道支出金	539,996	529,874	98.1	商工費	414,404	413,807	99.9
その他	812,349	869,504	107.0	その他	1,072,299	1,058,044	98.7
合計	11,067,458	11,140,695	100.7	合計	11,067,458	10,927,280	98.7

### 特別会計

区分	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	対算率	支出済額	対算率
国保会計	1,520,586	1,447,281	95.2%	1,487,786	97.8%
観光会計	86,063	69,949	81.3	75,661	87.9
給食会計	401,741	399,561	99.5	399,466	99.4
土地区画会計	574,513	558,181	97.2	552,916	96.2
合計	2,582,903	2,474,972	95.8	2,515,829	97.4

### 一般会計

昭和五十五年度は、中長期財政計画をもとに財政再建元年と位置づけ、長期的展望に立った健全財政を主眼とする財政運営に努めた結果、年度末の最終予算額は、百十億六千七百四十五万八千円となりました。

この予算額に対して、収入額は百一億四千六百九十九万五千円、支出額は百一億七千四百九十七万二千円、支

### 特別会計

四つの特別会計の総予算額は、二十五億八千二百九十九万三千円となり、これに対し収入額は、二十億七千四百九十七万二千円、支

## 55年度の決算額

出額は、百九億二千七百一十八万円で二億三千三百四十一万五千円の赤字決算となりました。この赤字分は全額五十六年度へ繰越しました。

昭和五十四年度と比較しますと総予算で一億五千八百五十六万四千六百五十九円、六・五％の増となりました。

出額は二十五億千五百八十二万九千円となりました。

### 市有財産の内訳 (昭和55年度末現在)

土地	3,987,124.87 m <sup>2</sup>
建物	196,749.579 m <sup>2</sup>
預金・現金	478,827千円
債権	159,584千円
その他	50,461千円

### 市で借りているお金 (市債元金のみ)



### まちづくりに役立っています 郵便局の簡易保険

市では住みよいまちづくりのため、毎年施設の整備を行っていますが、この資金の一部に、みなさんが加入している簡易生命保険の積立金から融資を受けており、これまでの融資残高は、2,518,882,000円にも達しています。

このように簡易保険の保険料はまちづくりの原資として大切な役割をはたしています。

院北海道専門学校・特集

# と自由が集う学園都市づくりへ

## 57年4月開校を成功させよう



日本工学院北海道専門学校は、総事業費、約二十五億円で工事着工いらい、五十七年四月開校を目ざし急ピッチで工事が進められていましたが十月十二日完成、同日竣工式が行なわれました。

片柳理事長は「学園都市建設を目ざす中浜市長の非常に熱心な努力と、まちづくりは人づくりからの考えに敬服し、学校の設置を断念したものです。これをステップに大学の設置にも努力していきます。」とあいさつされ、明年四月開校へ向け市民の協力も呼びかけていました。

以下、完成までの経過と学校の施設内容を写真でお伝えします。

### 市民の願い大きく開花

昭和五十四年六月、中浜市長は「たい。」と念願、幅広く大学等の「人間的の豊かさ、心身のたくま 誘致運動を進めていたところ、日しさを基調とした人づくりを進め 本工学院、日本航空学園、両校の

設置意向があり、同年十一月の臨時市議会に行政報告されていらい、市議会では「大学等設置に関する調査特別委員会」を設置。宮武清一委員長、以下十名の委員で調査が開始され、学校当局や関係者とも協議を重ね、同年十二月の定例市議会で日本工学院を札幌の大地に誘致することが決定されました。

この決定によって市議会内に「大学等誘致ならびに建設促進特別委員会」が設置され、建設促進の働きかけが行なわれました。

さらに、市の機構に「学園都市建設本部」を設置、十三名のスタッフに四名の職員を配置し、条件整備のため東奔西走したのです。

また、市民サイドでは「大学等誘致期成会」ができ、市民と市が一体となった取り組みが展開されてきました。

昭和五十五年三月定例市議会で学校用地として、市有地を譲渡することが議決されたことにより、同年四月四日、中浜市長と片柳理事長との間で調印式が行なわれ、同年十一月札幌の大地に本部棟、校舎などの建築工事が着工されたのです。

今年四月には日本工学院連絡事務所が、市内中央町二丁目（旧商工信用組合）に開設され、認可手続き、開校準備などの業務がスタートしました。

学校の教員住宅六棟も、市内青葉町二番地に完成、さらに市内新川町四丁目十三番地に、二百七十名収容の学生寮も明年二月

完成を目指して工事が進んでいきます。

さらに九月末、日本工学院北海道専門学校として、道知事から認可され、十月十二日の竣工とともに学生の募集事務が始まり、明年四月の開校を待つばかりとなりました。



電子基礎実験室

基礎専門科目の理論の学習では、実験を通して確認し、理解を高めるために、電子回路や電気磁気測定など、各種実験機器が配備されている



新川寮新築工事

270名収容の学生寮は、12月下旬完成の予定

学校の認可、校舎の竣工、開校と慌しい中にも順調に進み、力強い息吹を感じる事ができます。中浜市長の深いご理解とみなさまの心温まるご支援のためものと心より感謝申し上げます。



## 将来を担う技術者の育成を

学校長 中山浩資

若人が勉学に、スポーツに青春のひとこまを過し、教職員はもとより、地元の方々との心のふれあいを通して、心豊かで偏ることのない幅広い技術と教養を身につけた青年達が、より豊かな社会を造る担い手として、登別市の発展に、そして北海道の将来に貢献する事のできる人材を育成する事が、みなさまの期待に答える路であると考えております。

一層のご指導ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。



10月12日、専門学校では道内最大を誇る同校の落成式が行なわれ、あいさつに立つ片桐理事長



電子計算機実習室

大型コンピューターと30台の端末機が設置され、コンピューターとの対話による実習システムが導入されている



製図室



学生食堂



建築・土木工学実験室

測量やコンクリート強度の測定など、整備された実習・実験機器



通信機器実験室

50W基地局用FM送受信機、マイクロ波実験装置など、無線技術士養成に必要の実験設備が整っている

### ＝設置学科と内容＝

- ▶情報処理科 (160名) 電子計算機の上級ソフトウェア技術者を養成。
- ▶ソフトビジネス科 (120名) 簿記・会計、英会話などのビジネス系科目のほか、簡単なオフィスコンピューターの技術を学び、新しいタイプのオフィスレディを養成。
- ▶情報工学科 (40名) 電子計算機本体と周辺機器の設計・製造部門や企業の情報機器施設の管理技術などハードウェア技術者を養成。
- ▶電子工学科 (80名) エレクトロニクス技術の基礎からオーディオ技術、サービス技術、さらに上級無線技術者を養成。
- ▶電気工学科 (80名) 電気工学の基礎から学び、強電機器の設計・製造部門、発電所・変電所・受電設備等の施工・保守・管理を行なう技術者を養成。
- ▶建築学科 (80名) 都市計画・環境問題等を含む建築工学を学び、計画・設計・積算などの建築技術者を養成。
- ▶土木工学科 (80名) 実習を中心とした測量学を学び、土木工学の基礎から専門まで幅広く修得し、土木工事技術者を養成。

# 来年度の市立幼稚園 園児を募集します



11月9日～13日

- 昭和57年度の公立幼稚園（富士若草・登別温泉）の園児を次により募集します。
- △入園の資格
  - 昭和52年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた幼児
  - （昭和57年4月1日現在満4歳）
  - 登別市内の次の区域内に保護者と同居している幼児。
- △通園区域
  - ▽富士幼稚園Ⅱ中央町、常盤町、千歳町、新栄町、幌別町、幸町、富士町、柏木町、片倉町、新川町、緑町、桜木町、青葉町、札内町、鉾山町、川上町、来馬町、若山町1・2丁目、大和町1丁目。
- ▽若草幼稚園Ⅱ美園町、若草町、新生町、上蟹別町、富岸町、蟹別町、栄町、大和町2丁目、若山3・4丁目。
- ▽登別温泉幼稚園Ⅱカルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町、登別東町、登別本町、登別港町、富浦町。
- 幼児の登園および降園時に、保護者または、保護者にかわる方が同伴できる家庭の幼児。

- 募集人員
  - ▽富士幼稚園Ⅱ男子40名、女子40名。
  - ▽若草幼稚園Ⅱ男子40名、女子40名。
  - ▽登別温泉幼稚園Ⅱ男・女合せて40名。
- 入園願書の配付と受付
  - △入園願書の配付と受付
    - 配付受付期間Ⅱ11月9日（月）から13日（金）までの5日間で時間はいずれも午前9時30分から午後4時30分まで。
  - 配付受付場所
    - ▽富士幼稚園Ⅱ富士町7丁目1番地1（Ⅱ⑤9511）
    - ▽若草幼稚園Ⅱ若草町2丁目1番地（Ⅱ⑥1722）
    - ▽登別温泉幼稚園Ⅱ登別温泉町92番地7（Ⅱ④2865）
  - 応募手続き
    - ▽所定の入園願書の配付を受け、提出してください。
    - ▽住民票謄本1通と同伴通園誓約書を送付してください。
    - ▽印鑑を持参し、受付で入園願書に記入提出してもらいます。
  - 入園の決定
    - 応募者が定員を超えたときは、公開抽選により入園を決定します。

- 公開抽選Ⅱ次の日程により、各幼稚園で行います。
  - ▽富士幼稚園Ⅱ11月25日（水）午後1時から
  - ▽若草幼稚園Ⅱ11月24日（火）午後1時から
  - ▽登別温泉幼稚園Ⅱ11月25日（水）午後1時から
- 抽選の方法
  - ▽男女別定数の場合は、男女別に抽選し決定します。
  - ▽双子児の場合は、二人を一口として抽選し決定します。
  - 入園の許可および取り消し
    - 抽選後、入園審査を行い、集団生活に適応できると認められた場合は、「入園許可書」を交付します。
    - 入園を許可した幼児が入園できなくなったときは、抽選順にこれを補充します。
    - 入園決定後においても、入園資格に反していることが認められたとき、および心身の異常によりいちじるしく園生活に支障があると認められたときは、入園を取り消すことがあります。
  - 経費
    - 入園料Ⅱ2,000円
    - 保育料Ⅱ4,000円（月額）
    - 行事費、教材費、絵本代、その他保育用品代がかかります。

## 私立幼稚園でも募集

- 登別市私立幼稚園協会では、昭和57年度の入園児を次のとおり募集しています。
  - 願書配付Ⅱ11月9日・10日
  - 願書受付Ⅱ11月12日（登別文化幼稚園のみ13日も受け付けます）
  - 詳しくは、各幼稚園におたずねください。
  - ▽登別文化幼稚園Ⅱ蟹別町2丁目17番地（Ⅱ⑥7545）
  - ▽白菊幼稚園Ⅱ中央町1丁目16番地（Ⅱ⑤2545）
  - ▽登別カトリック聖心幼稚園Ⅱ中央町7丁目15番地（Ⅱ⑤2414）
  - ▽白雪幼稚園Ⅱ登別東町4丁目19番地（Ⅱ③1162）

## 郷土史探訪

### 登別東町

## 「ポロヤチ」の多かつた地域



「此の所の小川より東はシララ、西はホロヘツ分なり。西の方恵山岬よりフシコヘツまでは御家の持ち場にして、それより東は仙台家の持ち場なり……フシコヘツより陸路に上りて測量せしに、甲より乙（登別東町一・二丁目）までの谷地深く、馬に打ち乗りて越ゆれば既に馬の背も水にひたる程と思うなり。」

これは安政二年、今から約百二十五年前に書かれた、現在の登別港町一丁目の登別漁港から登別東町一・三・四丁目にかけての状況で、当時流れていたフシコヘツ（古い・川）を境に、川の東側は白老領仙台藩の持ち場ですが、川の南西の「御家の持場」とは幌別場所、登別側には領地の問題で現在の行政区を示しています。

川は一面に深く生い茂った葦原の沼沢地帯の中を流れ、白老町側の山ぞいの下、登別東町一・二丁目には多くの沼がありました。

明治二十三年、北海道炭鉄道（現在の室蘭線）の工事が登別で行われるようになってから、フシコヘツ川のかんがい工事が施行され、フシコヘツ川に鉄橋もできますが、登別漁港にある三車漁協の建物や前記鉄橋も白老町側に所属しています。

江戸期の海岸図台帳や他の資料で見ると、川は大体山ぞいに沿っているようですが、明治二年、蝦夷地を北海道と改め、十一国八十六郡を設置した時の登別と白老の境界では、フシコヘツ川がかなり西側に入りこんでいたようだが、登別側には領地の問題で大きな損をしたのがわかります。

四・五丁目は、ほとんどが谷地地帯でした。

登別東町二丁目にある登別別駅は虎杖浜側フシコヘツトンネルを出てランボウケトンネルに入るまでの曲線を一カ所にするため、湿地帯よりやや高い所という事で、明治二十五年北海道炭鉄道敷設時の最初の登別駅は、やや北海道コンクリート工場寄りのフンベサバ近くにありました。

この頃の登別温泉道路は、登別本町一・二丁目を通り、また村の中心も登別川寄り

の登別本町一・二丁目の境町道路、児札幌本道を中心とした所でしたので、それなりに都合も良かったわけです。

北海道コンクリート工場の整地により、現状よりずっと南にあった鉄道や鉄橋の跡も見られなくなりましたが、明治二十九年に鉄橋が流された事と駅構内の改良工事が行われることになったので現在地に移され、駅からまっすぐに旧札幌本道と結ぶ道ができるようになります。駅前道路を中心に家が建ち、町の原形がつくられるようになります。

大正四年、登別駅から登別温泉まで登別温泉軌道会社が馬車鉄道を開通し、大正七年には軽便鉄道そして、大正十四年には電車が走るようになり、登別温泉の玄関口として、ますます重要性を増してきました。

また、登別東町一丁目には、明治三十六年、栗林五郎の室蘭運合名会社が登別製鉄所を経営しますが、規模の大きさと生産量は明確でなく、一時的なものと思われています。

しかし、大正八年に開設された登別東町の登別製鉄所は、従業員五十五名で、生産量などの詳しい資料はありませんが、写真を見ると当時の製鉄所の建物がわかります。これも残念ながら昭和七年に終結した第一次世界大戦後の不況で、設立三年後には閉鎖されています。

そして登別東町一丁目の製鉄所跡に建設されたのが、井華塩業株式会社による製塩工場ですが、これも国内塩の生産過剰により、三年間の経営で閉鎖しております。

（登別市郷土文化研究会 宮武 伸一記）

# 忘れていませんか バイクの自賠責保険(共済)

“つい、うっかり”では  
済まない……



いま走っているモーター・バイク十台のうち二台が無保険(無共済)——あなたのバイクは保険に加入していますか。

自動車や自転車とは一味違った便利さが受けて、モーター・バイクの利用者が増えています。こうしたモーター・バイクの普及とともに増加しているのが、人身事故です。万一、事故を起こすと、被害者はもとより加害者も、

精神的にも物質的にも大きな打撃を被ります。ましてや無保険・無共済で死傷事故を起したら大変です。損害賠償のため、一生、借金に追われるようなことになりかねません。

そこで、万一、人身事故を起した場合、損害賠償をスムーズにできるようにするため、モーター・バイク保有者は損害保険会社の自賠責保険(自動車損害賠償責任保険)か、農協の自動車共済のどちらかへ加入しなければなりません。これは法律によって義務づけられているもので、無保険・無共済のままモーター・バイクに乗ると六カ月以下の懲役または五万円以下の罰金が科せられます。さらに違反点数は六点となり、免許停止の処分を受けます。

## 健康メモ

### 歯みがきとブラッシング

朝起きた後と夜寝る前に、歯ブラシに歯みがき剤をたっぷりつけて歯をみがく。歯ブラシを何回も往復させる。とすぐに口の中はアワだらけになって、息苦しくなり、あわてて吐き出し、数回、口をゆすいで終わり。

### おし歯予防③

「私は朝晩、きちんと歯をみがいています。」と、胸を張って言う人の歯みがき方は、大体こんな感じといっても過言ではないでしょう。

それだけで歯がきれいになると思っている人も多いようです。ベタベタして水に溶けない歯垢は、こんな、うがい程度のみがき方では、決して取り除けるものではないです。歯ブラシの毛先を正しい歯みがき方をマ

スターし歯の表面も、歯肉も、正しい歯みがき方をマ

この程度のみがき方をしているも歯みがき剤にはハッカなどの清涼剤が入っているため、口の中はすっきりして、いかにも清潔になったような感じがします。歯みがき剤を歯の表面に塗りつけられ、

ようにしなければなりません。歯みがきの目的は、歯垢を取り除くだけでなく、調理した柔らかい食べ物ばかり食べているために、歯肉炎になってかかりやすくなっている歯肉を鍛えあげる目的もあります。

## 職場などグループで...



ミニバレーボール大会  
参加チームを募集

がないこともあって、一度加入していても期限ごとの再契約を忘れてがちです。現在、全体の約二割が無保険・無共済のまま走っています。

モーター・バイクをお持ちのみなさん、いま一度ご確認を——。

保険料・共済掛金は、一年契約の場合五千三百円、二年ものが六千六百五十円、三年ものは七千九百円で、長期契約ほど割安になっています。

加入の申し込みは、最寄りの損害保険会社かその代理店(モーター・バイク店、自転車店など)、農協でどうぞ。

## レク指導員になりませんか

市教育委員会では、レクリエーション活動の普及のため、広く市民を対象に次のとおり講習会を行います。ふるってご参加ください。

▽日時 11月28日(日)午後6時から、同29日(月)午後1時から、12月3日(木)午後6時から、同6日(日)午後1時から(終了時間はいずれも午後9時)

▽会場 中央公民館

▽参加料 2,000円(テキスト代)

▽内容 講義、フォークダンス、ゲーム、その他

▽募集人員 50名

▽申込み期限 11月28日まで(当日会場でも受け付けます)

▽申込み先 市教育委員会社会教育課(☎021-119349)

※講習会終了者は、2級指導員となるための単位が与えられます。

▽試合方法 予選リーグ、決勝トーナメント方式

▽ルール ・6人制バレーボールルールを準用し、一セット11点、3セットマッチ。

・コートおよびネットはバドミントン用コート、ネットを使用。

・ボールは主催者が準備するビーチボールを使用。

▽種別 男子の部・女子の部(男女混成チームは男子の部に含む)

▽申込み期限 11月12日までに、総合体育館にありますが、定用の紙により申し込みください。

※詳しくは総合体育館へお問い合わせください。(☎05552)

## ご利用ください 年末調整説明会

サラリーマンにとって確定申告にかかわる大事な手続き、それが年末調整です。十二月の年末調整を控え、税務署と市では、次により年末調整の説明会を開催します。各事業所や企業で、給与から源泉徴収を行っている方はどうぞご利用ください。

▽日時 11月16日(月)午後1時

▽会場 中央公民館(市役所裏)

## 職業訓練指導員 資格試験を実施

この試験は、職業訓練法による指導員の資格を得るためのもので合格者には申請により職業訓練指導員免許が交付されます。

▽試験日 実技/57年1月22日、学科/57年1月29日

▽試験地 実技/職種により、札幌市、美唄市などで実施。学科/室蘭市

▽申請手続き 受験申請書、その他必要な書類を11月19日から30日までに胆振支庁商工労働課へ提出してください。

▽受験手数料 実技/1万1000円、学科/2,000円

※詳しくは、胆振支庁商工労働課(血室蘭22局9131)へお問い合わせください。

## 訂正

本紙10月15日号でお知らせしました、交通安全市民総決起集会のなかで「市内の交通事故ゼロ日」は280日で「ストッパー」とあるのは、380日の誤りでした。訂正してお詫びします。

# 暮らしのノート

②

●自然食品は安全か  
大気汚染や食品汚染が社会問題となり、食品衛生に対する消費者の関心が強くなっています。

そのため、添加物や農薬を使わない昔ながらの栽培方法や製造法によって作られた、いわゆる自然食品が歓迎されています。

しかし、近代的な方法で栽培・製造されるものに比べ、手間がかかったり、収穫が少ないなどのために価格が高く、また添加物や農薬を使ったものがすべて有害であ

るとか、これらを使っていないからといって完全に安全であるとは限りません。

●健康食品にも問題がある

一部の消費者の間で関心を呼んでいる「健康食品」と称される食品については、特にきめられた定

## 自然・健康食品の過信は禁物

義も範囲もありません。

本来、食品はうまいもので、栄養価のあるもの、しかも衛生上の安全性をそなえたものであり、人が健康を保持するために摂取しているものです。したがって、食品という文字にさらに健康とか自然

という文字をつけるのは、販売のための広告にすぎないとも考えられます。

●期待のし過ぎはやめましょう  
健康食品といわれるもののなかには、効能、効果のあるものもありますが、ほとんど期待できないものもあります。効果があるものでも、体質によっては逆効果の場合もあります。

とも問題です。最近では、健康食品が訪問販売され、例えば、クロレラ飲用による皮膚障害などの身体異常、販売方法など、いろいろな苦情が増えています。また、効能、効果、安全性などに関する問い合わせも市の

「消費者相談室」に多く寄せられています。

●期待のし過ぎはやめましょう  
健康食品といわれるもののなかには、効能、効果のあるものもありますが、ほとんど期待できないものもあります。効果があるものでも、体質によっては逆効果の場合もあります。

## 乳児相談

●内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

●用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル

●日程と場所

▽11月17日：婦人センター、受付  
12時30分～45分、対象：登録地区（富浦町、札内町、登録本町、登録東町、登録港町）と登録温泉地区（カルルス町、上登録町、登録温泉町、中登録町）の昭和56年7・8月出生児。

▽11月26日：鷺別公民館、受付  
11月26日：鷺別公民館、受付

## みんな受けよう

### 新入学児童の健康診断

昭和57年4月1日から、小学校へ入学するお子さんの健康診断をまだ届いていないご家庭は、学校の日程で行います。対象者も教育係へご連絡ください。(Ⅷ⑤) 2111内線346)

教育委員会では、すでに健康診

11時15分～30分、対象：登録地区（大和町、富岸町、若山町34丁目を含めた鷺別町、美園町方面）の昭和56年8月出生児。

▽11月27日：商工会館、受付  
11時15分～30分、対象：梶別地区（青葉町、若山町1・2丁目）から中央地区を含めて幸町、新栄町、千歳町までの地域）の昭和56年8月出生児。

## 家庭児童・母子相談

●相談日・場所  
▽毎日午前9時から午後4時まで（祝日、土・日曜日を除く）  
民生部市民相談室：担当相談員 談ください。

## ふれあう心の合言葉

一、教養をつみ視野を広げて、平和で文化のかおり高いまちをつくりましょう。

## 不用品ダイヤル市

5局2111  
内線 257

おわけします（売り）  
ダブルベット、畳、ガステーブル、石油風呂釜、ポット式石油ストーブ、電気冷蔵庫、ステレオ一式、ベビーベット、ベビー便器、エレクトーン、電気オルガン

ゆずってください（買い）  
コーナーイス、二段ベット、食卓テーブル、男子用自転車（小学5年生用）、女子用自転車（3歳～4歳、小学5年生用）、電気洗たく機、直線縫いミシン、部屋用かや、学習百科事典

## 「ご寄贈ありがとうございます」(敬称略)

が面接にあたりまます。  
▽毎月第3木曜日：午後1時から3時まで（今月は11月19日）  
中央公民館和室：室蘭児童相談所員による定期相談。  
●相談内容 しつけ相談、自閉症  
●お問い合わせは、市民相談室へ。(Ⅷ⑤) 2111内線212)

月日(曜日)	診断場所	対象学校名	検診対象町名	受付時間
11月9日(月)	鷺別公民館	鷺別小学校	鷺別町1、2、3、4、5丁目	午後1:30から 午後2:00まで
11月10日(火)	登録婦人センター	登録小学校	登録本町、登録東町、富浦町、登録港町、中登録町の全域、札内町381番地	午後1:30から 午後2:00まで
		札内小学校	札内町	午後2:00まで
11月11日(水)	鷺別公民館	鷺別小学校	鷺別町6丁目、栄町1、2丁目	午後1:30から 午後2:00まで
		富岸小学校	新生町、富岸町の全域、栄町3、4丁目、若山町3、4丁目、大和町2丁目	午後2:00まで
11月12日(木)	鷺別公民館	若草小学校	美園町、上登録町、若草町の全域	午後1:30から 午後2:00まで
11月17日(火)	労働福祉センター	梶別小学校	中央町、常盤町、米馬町の全域	午後1:30から 午後2:00まで
		梶別西小学校	新川町の全域	午後2:00まで
11月18日(水)	労働福祉センター	梶別小学校	千歳町の全域	午後1:30から 午後2:00まで
		梶別西小学校	富士町、片倉町、柏木町、川上町、鉾山町の全域	午後2:00まで
11月19日(木)	労働福祉センター	梶別東小学校	梶別町、幸町、新栄町の全域	午後1:30から 午後2:00まで
		青葉小学校	緑町、桜木町、青葉町の全域、若山町1、2丁目、大和町1丁目	午後2:00まで
11月20日(金)	登録温泉公民館	登録温泉小学校	登録温泉町、上登録町の全域、中登録町219番地	午後1:30から 午後2:00まで
		カルルス小学校	カルルス町の全域	午後2:00まで